

令和6年度「第33回環境測定技術研究会発表会」の開催報告

主催：北海道環境計量証明事業協議会 (一社)日本環境測定分析協会・北海道支部

○参加状況○ ※参加事業所会場重複あり

	ホテル会場	Web会場
発表会 (32事業所)	53名 (20事業所)	21名 (20事業所)
交流会	51名	—

令和6年7月26日(金)札幌サンプラザにおいて、標記発表会を(一社)日環協・道支部との共催にて開催しました。

環境測定分析を担当する技術者を対象に、技術力の向上と技術者間の交流を深めることを目的とした本発表会も33回目となり、今年も4テーマの発表がありました。

今年度も、昨年に続きホテル会場とWeb会場(ライブ配信方式)のハイブリット形式により開催し、また、発表会終了後の交流会も開催致しました。

皆様のご理解・ご協力により無事終わることが出来ました。

《開会挨拶》

北海道環境計量証明事業協議会
会長 高橋 徹 氏



《発表会》



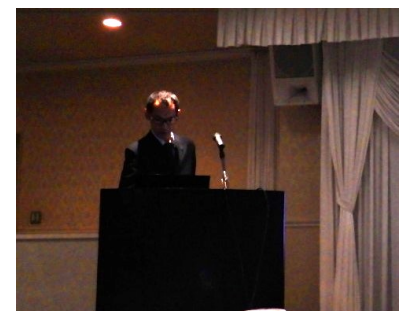
○「臭気測定における臭気指数と悪臭物質濃度の比較事例」

株式会社環境リサーチ 中谷 朋美 氏



○「労働安全衛生法関係法令の改正への当事業所の対応について」

株式会社ズコーシャ 稲毛 琢史 氏

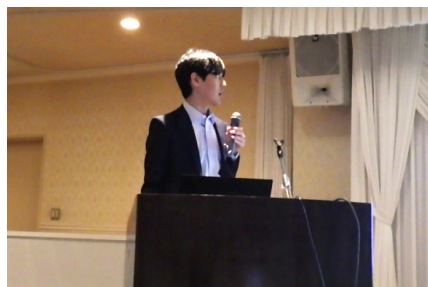




○「石綿に関する法改正と石綿事前調査」

株式会社コンストラクションサポート 藤井

高橋 龍之進 氏



○「分析初心者が行ったPT/GC/MS精度管理の過程」

株式会社北開水工コンサルタント 玉津 聖 氏



《交流会》



(一社) 日本環境測定分析協会
北海道支部長 柴田 陽介 氏



北海道環境計量証明事業協議会
委員長 佐藤 智行 氏

